

飯館村総合防災訓練

有事に備えてー 17訓練を実施



▲バケツリレーによる初期消火訓練

今年の「飯館村総合防災訓練」は飯樋町の村民グラウンドをメイン会場に行われ、消防団や関係団体、住民など860人が参加し、有事に備えて避難や応急、消火等の訓練を行いました。

この訓練は、村地域防災計画に基づき毎年実施しているものです。

今回は、「福島県沖を震源とする大きな地震が発生し、飯樋地区を中心に家屋の倒壊や火災、負傷者が発生した」との想定で行われました。

午前8時30分、役場内に設置された対策本部に災害発生時の報が伝えられると、広報車が住民へ避難を勧告、住民らは消防団員の誘導によりバス等でグラウンドへ避難しました。

グラウンドでは、食糧供給訓練、応急手当訓練、初期消火訓練、倒壊家屋からの救出訓練など17項目にわたる訓練が行われ、参加者たちは消防署員の指示を受けながら、それぞれの訓練に真剣な表情で臨んでいました。



▲▼消防団機動部による放水訓練



▲AED（自動対外式除細動器）を使用した応急処置訓練



▲ボランティア協議会による食糧供給訓練



▲応急手当訓練



▲土砂くすれ救出訓練



▲消防車両パレード



▲消火器を使用した初期消火訓練



▲役場内に設置された災害対策本部



▲婦人消防隊による炊き出し訓練



▲濃煙体験



▲ボランティア受付訓練



▲初めて実施された婦人消防隊の軽可搬ポンプによる初期消火訓練

秋季検閲式



▲消防団員の服装を点検する菅野村長ら

村総合防災訓練後には「秋季検閲式」が行われ、消防団員や婦人消防隊員など約220人が参加しました。

検閲式では、松林団長と菅野村長から「寒さと共に火災が発生しやすい時期を迎え、予防消防に一層努力していただきたい」とあいさつが述べられた後、通常点検と分列行進が行われました。

団員らは、予防活動への決意を新たにしていま